

平成30年度

地区懇談会 報告書

南区マスコットキャラクター
みなっち

地域の力応援部長
キラリン



主催：南区連合町内会長連絡協議会

1 南区地区懇談会について

南区地区懇談会は、昭和 44(1969)年に『南区区政懇談会』として発足し、毎年開催されています。地域と行政が膝を交えて話し合う場として、また、地域の皆さまが地域の課題を共有し、意見交換ができる場として、区内全 16 地区連合町内会のエリアごとに開催されており、南区の特徴ある取組の一つとなっています。

開催にあたっては、各地区連合町内会が中心となり、事前の準備から当日の運営に至るまで、自治会町内会の多くの方々によって運営されています。

平成 30 年度地区懇談会は、5月8日(火)から6月 25 日(月)までの約2か月にわたり、全 16 地区連合で開催されました。実施概要についてまとめましたので、報告します。

2 実施概要

主 催	南区連合町内会長連絡協議会
開 催 期 間	平成 30 年5月8日(火)から6月 25 日(月)のうち 16 日間
延べ出席者数	平成 30 年度 1,113 名 (地域 835 名、行政 278 名) 〔平成 29 年度 1,103 名 (地域 802 名、行政 301 名)〕
主 な 出 席 者	◇ 地域の方々 ◇ 行政 (南区役所、南土木事務所、資源循環局南事務所、南消防署、南警察署 等)

3 今年度の特徴

■ 参加者は 1,113 名

今年度の地区懇談会には延べ 1,113 名の方々が参加しました。多くの方に御参加いただき、各地区で活動報告や意見交換がなされました。地区内の学校の先生方や PTA の方、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会など、日ごろ地域と密接に取り組んでいる方も多く御参加いただきました。

■ 意見交換を盛り上げる様々な工夫を実施

今年度の地区懇談会では、「防災」を取り上げた地区が多くありました。いつ震災が起きても対応できるように、食料品の備蓄や家具の転倒防止対策をしておく自助が大切だという意見や、災害時要援護者の支援も含め共助を進めるために顔の見える関係づくりに取り組みたいという意見が多く聞かれました。

また、「町内会活動」や「見守り」、「地域の居場所づくり」、「若い世代の地域活動への参加促進」などが議論される地区も多く、生活に密着した身近な話題への関心の高さが見受けられました。

今年度は、グループ討議が昨年度より4地区増え、8地区で実施されたことも特徴です。各グループに町内会長が入って進行をするなど、工夫をしながら運営をされていました。


その他、サロンや各自治会町内会の取組を発表する、今後実施したい取組を提案し議論につなげるなど、各地区、意見交換を盛り上げるため様々な方法を展開しました。

これからも、地区懇談会を通して、地域のみなさまと様々な課題を共有し議論しながら、よりよい地域づくりに向けて共に進んでまいりたいと思います。


4 各地区の実施概要(16 地区連合町内会)

※番号は地区懇談会開催順


(1) 井土ヶ谷地区

日 時	5月8日(火) 18時00分～	
会 場	井土ヶ谷アーバンデザインセンター	
参加住民	56名	
議 題	(1)連合防災対策委員会構成各自治会町内会の活動報告 (2)各自治会町内会のごみ対策	
	(1)について、各自治会町内会の防災の取組が報告された。井土ヶ谷中町第一町内会では、子ども会の協力を得て防災訓練を開催し、100名の参加があったという。(2)について、同地区では初めてとなるグループ討議を行い、ごみ分別のルールを守ってもらう方法等について話し合った。	
連長より一言	今回、地区懇談会を初めてグループ討議方式で実施した。各グループ談論風発、活発な意見が飛び交い、当初の疑念を晴らす有意義な地区懇談会となった。	


(2) 蒔田地区

日 時	5月10日(木) 19時00分～	
会 場	蒔田コミュニティハウス	
参加住民	50名	
議 題	各拠点における防災訓練について	
	どうしたら防災訓練に人を集めることができるか、また、災害に備えたご近所での助け合いについて、意見交換を行った。食事を振る舞い若い人たちを集める、あいさつをすることで日ごろからの顔の見える関係づくりにつながる、など様々な意見が発表された。同地区の地区懇談会では、初めてのグループ討議を実施した。	
連長より一言	地区懇談会として初めてのグループ討議であったが、参加者の声を聴くとグループごとにより活発な意見交換が行われ、情報共有の場としても良かった。	


(3) 中村地区

日 時	5月11日(金) 18時30分～	
会 場	中村地区センター	
参加住民	59名	
議 題	災害時の対応について	
	いつ起こるか分からない災害に対し、地域の人々が安全かつ安心して避難ができるよう、避難行動の流れや福祉避難所について情報共有がなされた。また、中村地区にある施設より、災害時の対応や役割、地域との連携について話された。	
連長より一言	今回は、防災拠点や福祉避難所について地域の皆さまと再確認し、理解を深めることができた。また、福祉関連施設の情報も詳しく知ることができたのは、地域にとっても大変有意義なことだったと思う。	


(4) 堀ノ内睦町地区

日 時	5月15日(火) 19時00分～	
会 場	睦コミュニティハウス	
参加住民	70名	
議 題	(1) 続・地域防災力の向上について	
	(2) 高齢者の集う場づくりについて	
連長より一言	地域の防災意識を高めるため、昨年に引き続き「防災・減災の取組はどうあるべきか」について話し合われた。出席者からは「訓練も大事だが、ご近所同士の顔の見える関係づくりが大切だ。」という意見が出た。また、高齢者の食事会について3団体から取組発表があり、元気な高齢者が支え合う「交流の場づくり」について意見交換がされた。	
	防災力を高めるには自助・共助の大切さと情報の共有化、そして喫緊の課題である高齢者対策については、地域の人々が日頃から思っている課題であり、議題として取り上げたのは良かった。	


(5) 永田みなみ台地区

日 時	5月17日(木) 19時00分～	
会 場	南永田団地1街区集会所	
参加住民	24名	
議 題	永田みなみ台のまちづくり (1)安全・安心・きれいなまち (2)つながり祭のPRについて	
	<p>「まちづくり」という大きなテーマのもと、ごみ出しのマナーや高齢者・子どもの見守り活動、まちの活性化のため取り組んでいる「つながり祭」の参加者を増やすための方法について意見交換がされた。永田台小学校のPTA会長なども参加し、「つながり祭」のPRについて団地内の放送の活用などアイデアが出された。</p>	
連長より一言	<p>地域と学校のつながりの強さを感じられた。「つながり音頭」の披露もあり、あったかい雰囲気の中で話し合いができた。</p>	


(6) 北永田地区

日 時	5月18日(金) 19時00分～	
会 場	永田小学校図書室	
参加住民	50名	
議 題	各自治会町内会の防災訓練について	
	<p>各自治会町内会において災害時のマニュアルを整備しておくことの大切さについて連長から説明があった。また、災害時の安否確認や備品等の準備状況、被災状況確認訓練等、各自治会町内会の取組が発表された。消防団からは日ごろの訓練から連携して取り組みたいという話がされた。</p>	
連長より一言	<p>北永田連合町内会の住民は防災についての知識が不足していると私は常に感じていた。そのため、今回議題に選び話し合ったことは、住民にとって大変有意義な時を過ごしたと思う。</p>	


(7) 太田東部地区

日 時	5月26日(土) 18時30分～	
会 場	西中・前里一二・白金一町内会館	
参加住民	34名	
議 題	<p>太田東部オレンジの会 1年間の活動報告</p> <p>昨年に引き続き「太田東部オレンジの会」の活動報告がテーマとなった。様々な機会を通じて、認知症サポーター養成講座を開催していることが報告された。また、オレンジの会の新たな取組である、多世代が交流できる場づくりとして開設予定の「ひよっこり茶屋」の紹介を行った。</p>	
連長より一言	<p>今年は、参加者からも認知症の方を助けた際の様々な話が聞けて良かった。今後もオレンジの会の活動を通して、認知症を正しく理解する人を増やしていきたい。</p>	


(8) 大岡地区

日 時	6月5日(火) 18時30分～	
会 場	大岡地区センター	
参加住民	38名	
議 題	<p>自治会・町内会(地域)の防災(減災)力向上を目指して</p> <p>今年度はグループ討議形式で意見交換を行った。5つのグループに分かれ「地域の防災意識を向上させるためにどのようにしたらよいか」を討議した結果、各自治会・町内会の防災訓練の取組や参加者数を増やす工夫、今後の対策など様々な意見が各グループから発表された。</p>	
連長より一言	<p>グループ討議での地区懇談会は初めての試みだったが、概ね予想通りの結果で収束した。今後も引き続き『防災(減災)』問題に取り組んでいくことになると思う。</p>	


(9) 本大岡地区

日 時	6月7日(木) 18時30分～	
会 場	大岡地区センター	
参加住民	48名	
議 題	<p>未来に向けた住みよいまちづくり Part2 ～昨年度の成果報告と今後に向けて～</p> <p>住みよいまちづくりについて、昨年度の地区懇談会からの成果として、スタンプラリーウォークの実施や健康クラブの活動開始等の報告がされた。また、若い人に地域活動に参加してもらう方法についてグループで話し合い、「子どもも大人も参加できる企画をしてはどうか」などの提案がされた。</p>	
連長より一言	住みよいまちづくりは、一人一人の気配り目配りから住んで良かった本大岡地区	


(10) 六ツ川地区

日 時	6月8日(金) 18時30分～	
会 場	六ツ川一丁目コミュニティハウス	
参加住民	46名	
議 題	<p>活気ある住みよい町づくり、きれいで安心安全な街づくり</p> <p>認知症当事者や介護家族が同じ悩みを持つ人と話せる場を作りたいとの思いから活動している認知症カフェ「とおしみち」の取組が紹介された。また、港南郷自治会の感震ブレーカー設置を全戸近い世帯に設置した取組が紹介された。この事例を参考に他自治町内会でも取り組みたいという意見があった。</p>	
連長より一言	議題は3年目を迎え、今回は総仕上げの年と位置付けた。地域住民の気持ちになって根底にある問題まで掘り下げることができたと思う。地区懇談会の目的が各自治会町内会に浸透してきた結果だと考えている。	


(11) 六ツ川大池地区

日 時	6月13日(水) 18時00分～	
会 場	六ツ川台コミュニティハウス	
参加住民	57名	
議 題	<p>地域で取り組む防災活動について</p> <p>災害時に「子どもたちが一人になる時間帯にどのように守るか」「一人ひとりがどのような行動が必要か」について意見交換を行った。日ごろから取り組めることとして、普段からのコミュニケーションを大切にする、家具の転倒防止対策を行うという意見があった。</p>	
連長より一言	<p>たまたま、地区懇談会の直後に大阪での地震が発生し、災害時に子どもや高齢者をどう守るかという今回のテーマの重要性を再度認識できたように思う。</p>	


(12) 南永田山王台地区

日 時	6月14日(木) 18時00分～	
会 場	永田地域ケアプラザ	
参加住民	42名	
議 題	<p>通り(道)の命名事業について</p> <p>身近な道の愛称を地域住民でつけることで、ふるさと意識を醸成していきたいということで、地区のまちづくり団体「ふるさと創生の会」を中心に取組を進めることが説明された。参加者からは「まちの歴史を知る人や子どもにも参加してもらおう」「まち歩きをしてランドマークを探す」などの意見が出された。</p>	
連長より一言	<p>地域の一体感を醸成し、夢ふくらむ内容が楽しかった等の意見をいただいた。安心して安全な住みやすい地域を目指す地区として、「ふるさと」を地域の力に、みんなで一緒になって展開してまいりたいと思う。</p>	


(13) 太田地区

日 時	6月15日(金) 18時30分～	
会 場	太田地区町内連合会館	
参加住民	46名	
議 題	<p>災害時における避難所の在り方について</p> <p>被災地で撮影された避難場所の様子を見ながら、防災拠点の運営や避難所の在り方について情報共有された。また、災害時における障害者の支援について、地域活動ホームの相談員より「お互い様と言える関係づくりのために、日ごろの活動を通じて地域と交流できるようにしていきたい」という話がされた。</p>	
連長より一言	<p>災害はいつ起きるかわからない。実際は混乱もあると思うが、子ども・高齢者・障害者も含めた地域住民全体で支え合っていくことの大切さを考えるきっかけとなった。</p>	


(14) 別所地区

日 時	6月21日(木) 18時00分～	
会 場	別所コミュニティハウス	
参加住民	54名	
議 題	<p>町内会活動について</p> <p>4町内会から町内会活動の報告が行われた。ファミリーレストランでのサロン活動や子どもと一緒に防犯パトロール、町内会の将来を話し合う会議や焼き芋会と防災訓練を一緒に行うことで若い世代の参加者が増えたなど様々な工夫を凝らした取組が発表された。</p>	
連長より一言	<p>今年度は、各町内会より行事の参加をきっかけとして新しい担い手を見つけ出したという報告がされた。これを継続することにより町内会の活性化につながっていくと思う。</p>	

(15) 寿東部地区

日 時	6月23日(土) 19時00分～	
会 場	南区役所 1階多目的ホール	
参加住民	106名	
議 題	<p>地域防災力の向上に向けた取組について</p> <p>「自助・共助のための取組」と「次年度の防災訓練に向けた提案」の2つのテーマについて、同地区初めてとなるグループ討議を実施。单身マンションや外国人が多い同地区ならではの課題や、防災訓練を小学校の児童と一緒に行う上で配慮しなければならないことについて意見交換された。</p>	
連長より一言	<p>グループ討議を初めて実施し話し合えたことは有意義であった。また、会長の半数が交代し新体制のなか、住民に会長を知っていただき顔の見える関係づくりができたということは、一歩前進である。</p>	

(16) お三の宮地区

日 時	6月25日(月) 18時00分～	
会 場	お三の宮地区連合町内会館	
参加住民	55名	
議 題	<p>これからの「日枝小学校地域防災拠点」訓練のあり方</p> <p>昨年度、日枝小学校で行われた地域防災拠点訓練の結果報告を行った。より実践的な拠点訓練ができるよう、避難者カードの配布や区割り訓練に取り組んだことが報告された。また、訓練に参加した学校、施設、保護者から訓練についての感想や今後に向けてお話があった。</p>	
連長より一言	<p>地域防災拠点訓練の報告や事例を紹介することにより、情報を共有することができた。また、参加者からたくさんの意見が出たことで、とても有意義な会になったと思う。</p>	

5 参加者のアンケート結果

地区懇談会のあり方や運営方法の改善等について検討するため、地区懇談会に参加された方々にアンケートを実施しています。

今年度も、参加者の約8割に当たる多くの方々から回答をいただきました。

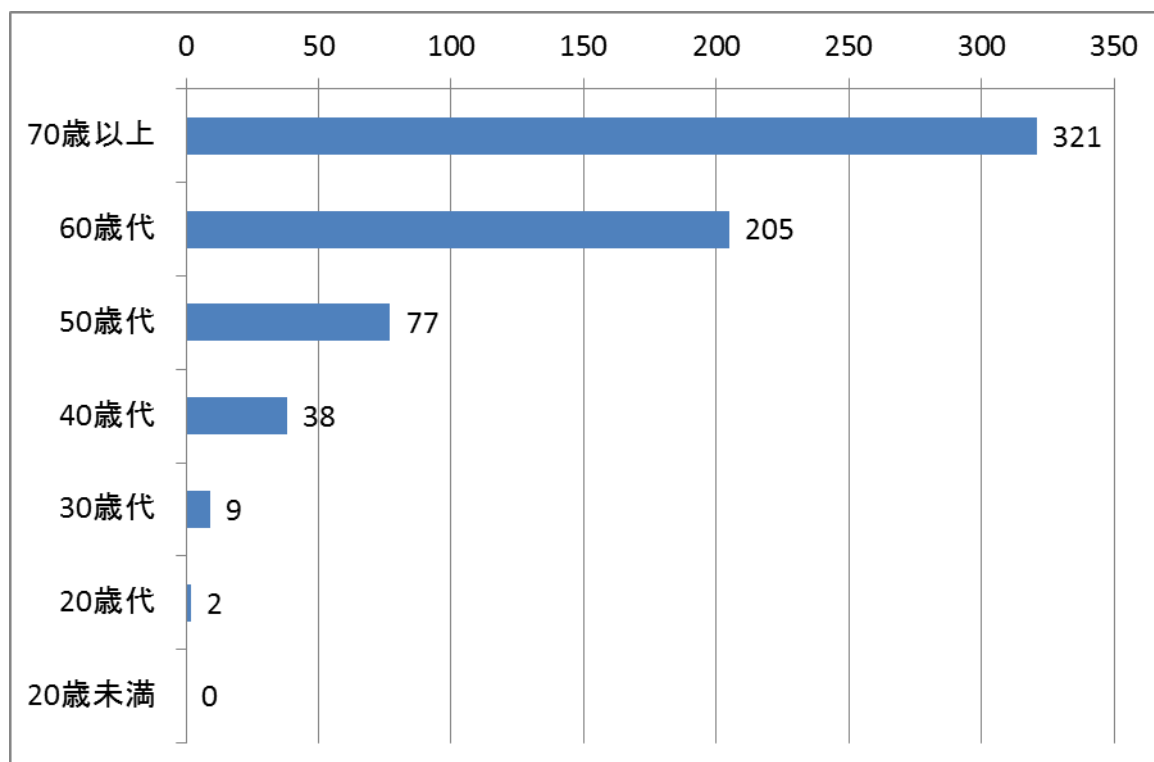
- アンケート回収率 81%（前年度 82%）
- 回答総数 664件（前年度 661件）

■ アンケート内容

【年齢】

20歳未満、20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳代以上

【回答数 652件】【無回答 12件】

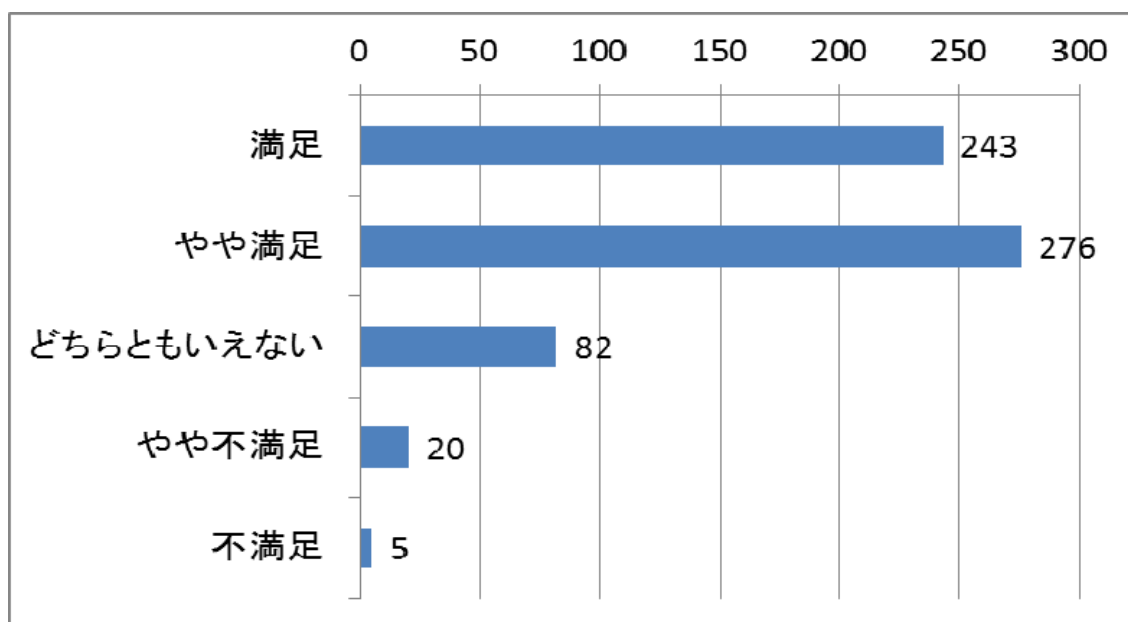


70歳以上が最も多く参加しており、次に多いのが60歳代となっています。あわせて、8割が60歳代以上の参加者となっています。また PTA や子ども会の方の参加もあり、幅広い世代が集まりました。

2. 地区懇談会に参加してみて、いかがでしたか？

満足 ・ やや満足 ・ どちらともいえない ・ やや不満足 ・ 不満足

【回答数 626件】 【無回答 38件】



地域の課題解決を図るため、地域のみなさまに十分に議論をしていただく場として地区懇談会を開催し、今年度も各地区から提案された議題に沿って意見交換が行われました。その結果、「満足」または「やや満足」と回答した方が約8割を占め、「熱心な話し合いができて良かった」「これからもいろいろなことを皆さんで話し合いながら進めていきたい」等の感想をいただきました。

一方、「議論の時間が足りない」「参加者が町内の役員中心なので一般の住民や若い世代に多く参加してほしい」などの意見も寄せられました。

【参考】過去3年間の満足度の推移

回答選択肢	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
満足	150	24%	206	31%	243	37%
やや満足	270	43%	268	41%	276	42%
どちらともいえない	115	18%	113	17%	82	12%
やや不満足	34	5%	26	4%	20	3%
不満足	12	2%	8	1%	5	1%
無回答	42	7%	40	6%	38	6%
計	623	100%	661	100%	664	100%

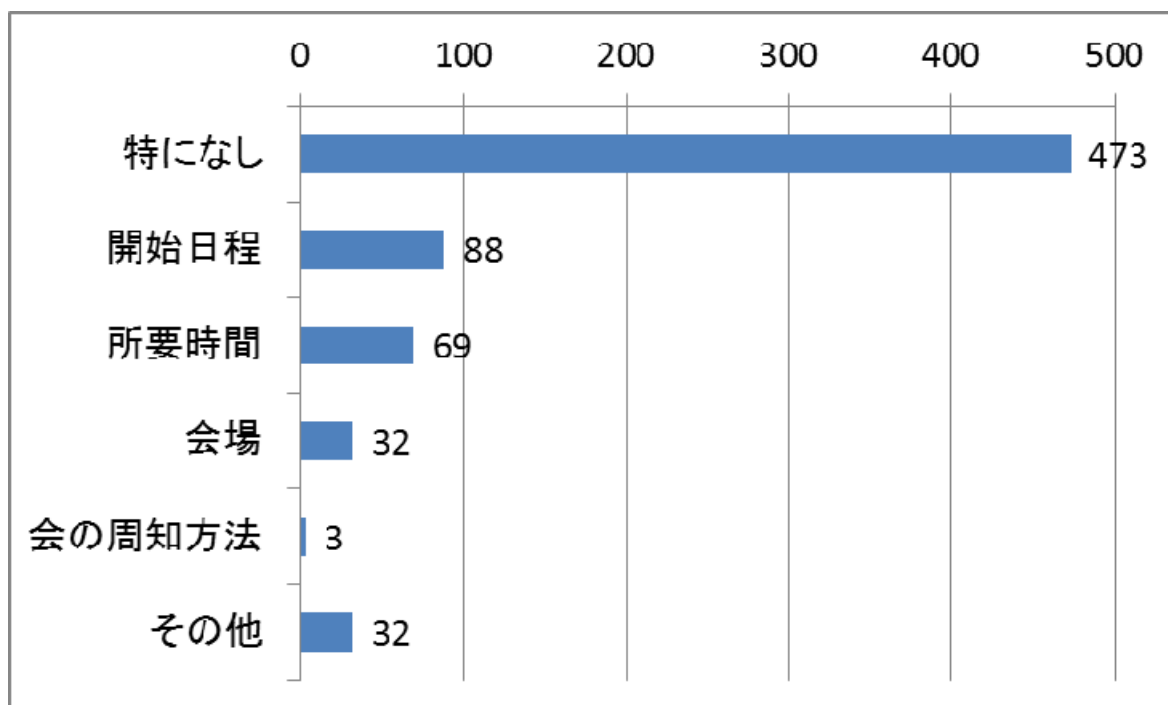
3. 地区懇談会について、改善した方がよい点はありますか？

・なし

・あり ※「あり」を選んだ方は以下の設問も回答ください

- ① 開催日程 平日、土曜日、日曜日
- ② 所要時間 もっと長く(分) /もっと短く(分)
- ③ 会場 南区役所、地区センター、コミュニティハウス、自治町内会館
その他()
- ④ 懇談会の周知方法 ()
- ⑤ その他 ()

【回答数 697件】 ※複数回答あり



最も多かった回答が「特になし」で、全体の約7割を占めました。

「改善点あり」の中では、開始日程について、「仕事をしている人も参加できるように土日希望」という意見が多く寄せられました。

また所要時間については、120分と延長を希望する意見がある一方、60分と短縮を希望する意見もありました。

会場については、今までどおりが良いとの意見が多いですが、地区センターや自治町内会館が良いといった声もありました。

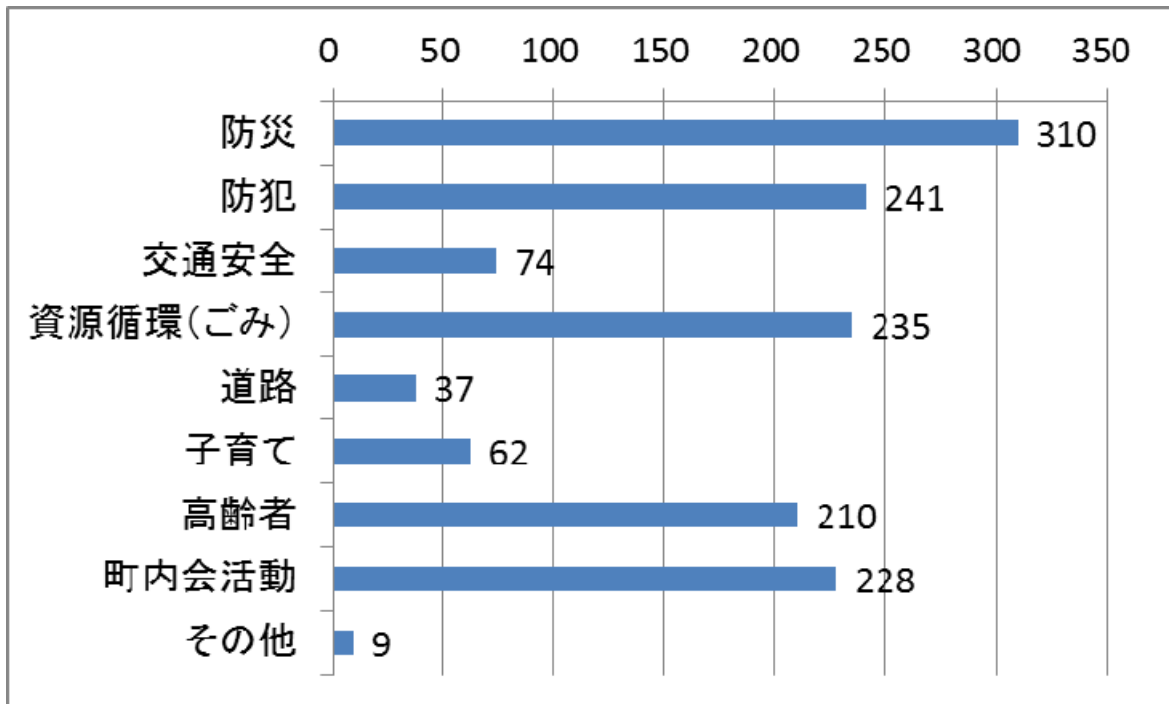
その他、「議題の内容を事前に知っておきたかった」「挨拶を短くして議論の時間を長くしてほしい」等の意見がありました。

4. 地域のみなさんで話し合うとしたら、どのようなテーマがよいですか？

(複数回答可)

- | | | |
|--------|------------|----------|
| ① 防災 | ④ 資源循環(ごみ) | ⑦ 高齢者 |
| ② 防犯 | ⑤ 道路 | ⑧ 町内会活動 |
| ③ 交通安全 | ⑥ 子育て | ⑨ その他() |

【回答数 1,406件】 ※複数回答可



昨年度に引き続き、全体では「防災」が1位となりました。また、「防犯」や「資源循環(ごみ)」、「町内会活動」や「高齢者」について話し合いたいという意見も多く、関心の高さが伺えます。

5. その他、ご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

【回答数 109件】

主なご意見は、以下のとおりです。

- グループ討議は他町内会との交流も深まるためとても良い。(井土ヶ谷)
- 熱心な取組を聞いた。また、活発な意見交換ができてよかった。(堀ノ内睦町)
- 防災訓練とマニュアルの必要性を感じた。(北永田)
- これからいろいろなことを皆さんで話し合いながら進めていきたい。(大岡)
- 感震ブレーカーの全戸近い数の設置取組が勉強になった。(六ツ川)
- 今回の議題は住民が興味を持って参加できてよいと思った。(南永田山王台)
- グループ討議にしたことにより様々な意見が聞けて勉強になった。(寿東部)
- 災害が身近な問題になっている今、とても参考になる話が聞いた。(お三の宮)

6 住みやすい地域づくりを目指して

地域の課題を話し合い、共有することが地区懇談会の重要な役割の一つです。地区懇談会を契機に、さらに住みやすい地域となるよう、話し合いを継続していくことが大切ではないでしょうか。

今年度はPTA や子ども会、学校や施設の方にも御参加いただきました。こういった世代や立場を超えた意見交換を行うことで、新たな気づきやつながりが生まれることでしょう。

今後の地区懇談会のさらなる充実に向けて、アンケートや他地区の開催状況を参考にさせていただけると幸いです。アンケートのご協力ありがとうございました。

また、次頁以降に、よりよい意見交換の進め方について、御紹介しております。地区懇談会に限らず、地域の様々な話し合いの場において、一例として御活用ください。

地区懇談会は今年で50年目を迎えました。

これからもみなさまと共に、よりよい地域づくりに取り組みます。



事務局からの一言

南区役所では、地区懇談会の運営や地域の皆さまが取り組む活動への支援を進めています。具体的には、「南区地域別データ集」の作成、南区ソーシャルマガジン「キラリ」での地域活動の紹介を行い、地域の魅力づくりや課題解決の参考となるよう取り組んでいます。また、「南区元気な地域づくり補助制度」や「ちょこっとコーディネーター派遣制度」において地域活動への助成の充実も図っています。

これからも地域のみなさまと共によりよい地域づくりに向けた取組を進めていきます。



みなっちの アンポイント・アドバイス



～意見交換の進め方～

平成30年度の地区懇談会では、議論を盛り上げるために、グループ討議や活動発表を取り入れるなど、各地区で様々な工夫がされたね！

みんなで意見交換をするのには、まず、話し合うテーマや目的を考えることが大切だと思うんだ。そこで、意見交換のステップについてまとめてみたから、代表的な例を紹介するね！

STEP1

議題や視点はどうする？

まずは意見交換を通じて何を進めたいかを明確にすることが大切だよ！

情報共有・課題解決

地域の現状や活動について情報共有したい

日ごろ課題に思っていることについてみんなで見聞交換したい

取組拡大

今行っている取組を拡げたい、参加者を増やしたい

新しい取組を始めたいので、みんなの意見を聞きたい

連携促進

お隣の自治会町内会や他の団体と連携することで、活動を広げたい、担い手の負担を軽減したい

STEP2

どういう場にしたい？

全員が発言できる

全員で一度に情報共有できる

STEP3

議論の方法は？

グループ討議

教室形式

※議論の方法は他にもあります。

STEP4

議論の進め方を考えよう！

- 議題提案主旨を説明
- グループに分かれて、司会者・発表者・書記等を決める
- 各グループで話し合う
- 各グループの意見を発表
- 全体まとめ

- 議題提案主旨を説明
- 事例の紹介
- 全体で意見交換





発行：平成 30 年 9 月

事務局：南区地域振興課地域力推進担当